



JASDAQ

平成 20 年 12 月 15 日

各 位

大阪市北区堂島浜二丁目 2 番 8 号 東洋紡ビル

ヴィンキュラム ジャパン株式会社

代表取締役社長 城田 正昭

(JASDAQ・コード番号：3784)

問い合わせ先 取締役管理部長 吉田 裕

TEL 06-6348-8951

中国における合弁会社設立に関するお知らせ

当社は、平成 20 年 12 月 15 日開催の取締役会において、下記の通り株式会社東忠ソフトウェア（以下、「東忠ソフトウェア」という。）との間で、中国において合弁会社設立を設立することを決議いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 設立する合弁会社の概要

新会社の名称：維傑思科技（杭州）有限公司（予定）
(wei jie si : ウェイ・ジェイ・スー)
(英語表記) Vinculum China Co., Ltd. (予定)

代表者 : 大西 誠

本店所在地 : 浙江省杭州市浜江区長河路 590 号東忠科技园

設立年月日 : 平成 21 年 1 月 (予定)

主な事業内容：中国における流通サービス業向けシステム情報サービス、システム開発
日本における流通サービス業向け情報システムアウトソーシング、システム開発

決算期 : 12 月末

従業員数 : 25 名 (予定)

資本金 : 3 億円

株主構成及び所有割合：ヴィンキュラム ジャパン株式会社 90%
株式会社東忠ソフトウェア 10%

2. 合弁会社設立の目的

当社グループは、創業以来、「人々のくらしと企業のビジネス活動の接点を情報システム技術で融合し、豊かな社会の実現に貢献する」ことを経営理念に、日本国内において、流通サービス業向け総合情報サービス企業として事業展開を行ってまいりました。

現在、当社グループは収益構造改革に取り組んでおり、その一環として 2008 年 6 月に中国

杭州駐在員事務所を設立し、中国においてオフショア開発をスタートするとともに、並行して中国における流通サービス市場及び技術動向等の調査を実施してまいりました。

昨今、中国は大きく経済成長を遂げている国のひとつであり、多くの日系流通サービス企業が中国に進出し、今後も大幅な事業拡大が見込まれます。

今般その調査結果を踏まえ、今後当社グループが大きく事業拡大をするためには、日本国内だけではなく、大きな成長が期待できる中国及びアジア市場への進出が不可欠であると認識し、中国における事業拡大と開発拠点としての大幅な体制強化を目的として、中国浙江省杭州市に合弁会社を設立いたします。

なお、中国において子会社を設立するに際して、中国市場における開発実績とノウハウをもつ東忠ソフトウェアと共同で会社を設立することが、中国における事業運営をより円滑に遂行できると判断し合弁会社としております。

3. 東忠ソフトウェアの概要

商号 : 株式会社 東忠ソフトウェア
代表者 : 丁 偉儒
本店所在地 : 東京都新宿区西新宿三丁目 11 番 20 号
主な事業内容 : コンピュータ及びその関連機器による情報処理
売上高 : <連結>20 億 (平成 19 年度)
当社との関係 : 当社との資本関係はございません。

4. 日程

平成 20 年 12 月 15 日 取締役会決議
平成 21 年 1 月 (予定) 会社設立
平成 21 年 2 月 (予定) 事業開始

5. 今後の見通し

新会社は当社の連結子会社となりますが、子会社の事業展開が本格化するのには平成 21 年 4 月以降を予定しております。

従いまして、当連結会計年度における当社業績に与える影響は軽微であります。

また、来期以降の見通しにつきましては、現在精査中であり判明次第速やかに開示いたします。

以 上